

79回目の終戦記念日

日本共産党

再び惨禍 招かない

戦争する国づくりにストップ

今日は79回目の終戦記念日です。15年にわたる侵略戦争は310万人以上の日本国民、2000万人を超えるアジアの人々の命を奪いました。日本共産党は、犠牲となられた方々に深い哀悼の意を表します。



平和外交に全力をあげる政治への転換を

惨禍をくり返さないという誓いこそが戦後日本の出発点です。ところが岸田首相は軍事費増の大軍拡の道に突き進み、歴代政府が憲法違反としてきた敵基地攻撃能力の保有を決め、核兵器による脅しである「核抑止」を日

米閣僚で協議するなど、戦後の歩みを逆転させる動きを強めており、重大です。

東アジアと日本に戦火を招かないために平和外交に全力をあげる政治への転換こそ必要だと、日本共産党は考えます。

反戦平和の党として102年、平和外交に全力



アジアでは ASEAN 諸国を中心に紛争を戦争ではなく対話で解決する蓄積があります。また、世界では核兵器の使用を国際法違反とした核兵器禁止条約が批准され、この条約に基づいた取り組みが進んでいます。

和を貫いてきた党として、岸田政権の戦争国家づくりときっぱり対決するとともに、東アジアに平和をつくる「東アジア平和提言」、中国との諸問題を外交を通じて解決するための「日中関係の前向きな打開のための提言」を発表し、実現のために力を尽くしています。

日本共産党は党創立から102年、反戦平

ごいっしょに力を合わせましょう

「政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにする」。憲法前文に記されたこの一節を心に刻んで、「戦争する国」づくりを許さないためにご一緒に力を合わせましょう。

参議院議員(東京選出)

吉良よし子

きら・よしこ



衆院比例東京ブロック予定候補



田村 智子

党委員長・参院議員



宮本 徹

衆議院議員



谷川 智行

医師・党政策副委員長



坂井 和歌子

吉良山添事務所長

東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2024年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

東アジアの 平和へ

戦争でなく 外交と対話



報告する志位和夫議長 7月24日



志位議長が発言 **日本共産党**

高まる東アジアの軍事的緊張。日本共産党の志位和夫議長は、どうやって戦争の心配のない東アジアをつくるのか発言しました(7月24日のシンポ)。いま「平和の準備」こそ必要です。

日本共産党は4月17日に「東アジア平和提言」を発表。志位氏は「提言」は▽大軍拡路線に対し、憲法9条にもとづく平和的対案▽理想を掲げつつ「現実的アプローチ」に徹している▽排除でなく包み込む論理を貫いていると述べました。

日本では岸田政権が大軍拡を進め、世界では米国と中

国・ロシアによる軍事的対抗の強化が軍事他軍事の悪循環を作り出しています。一方で、ASEANなどの平和共同体の目覚ましい発展があります。

志位氏は「提言」が世界の平和の流れとも響きあうものになっているとし、「対話と外交で東アジアに平和をつくる。この1点で力を合わせよう」と呼びかけました。

東アジアの平和構築への提言

ASEANと協力して東アジア規模での平和の地域協力の枠組みを発展させる

北東アジアの諸問題の外交的解決をはかり、東アジア平和共同体をめざす

ガザ危機とウクライナ侵略——
国連憲章・国際法にもとづく解決を

「いま東アジアの『平和の準備』をどう進めるか」と題したシンポジウム 7月24日、東京明治大学駿河台キャンパス



参議院議員(東京選出)

吉良よし子

きら・よしこ



衆院比例東京ブロック予定候補



田村 智子
党委員長・参院議員



宮本 徹
衆議院議員



谷川 智行
医師・党政策副委員長



坂井 和歌子
吉良山添事務所長



ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2024年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社 (港区芝 1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可